

慶應四年七月十日ヨリ  
八月二十五日<sup>ル</sup>到<sup>ル</sup>

横濱神ノ京大坂日記

右ノ為<sup>ル</sup>懐中不離身<sup>アリ</sup>

行年三十歳 養正院主人

早稲田大学図書館

文書 27

A 22



中居のしは女子  
 と懐くは指原より  
 陽成年私に候ふ  
 つまはるは女子  
 中二ち候ふを候ふ  
 と候ふと方乃迄  
 ありし時より回想の  
 いづれに際あり  
 とを候ふと  
 九  
 十七の七月三十一日  
 菊樹平何印

菊樹平何印  
 福原



七月八日 雨 品

関口臨龍丸し一件の御座り候  
此ノ手紙も取集り人四人と申す御座り  
一 龍宮の御座り候と申す  
一 関口臨龍丸し一件の御座り候  
一 龍宮の御座り候と申す  
一 関口臨龍丸し一件の御座り候  
一 龍宮の御座り候と申す

九日 雨 品

雨甲の御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す

十日 晴 品

御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す

十一日 晴 品

御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す

十二日 晴 品

御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す  
御座り候と申す

延川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

徳川  
徳川  
徳川  
徳川

之秋柳院と...  
大田河内水落...  
十九日晴

午舟因歩...  
野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴

野口...  
二十日晴



善方中ノ島片紀島即大島ノ山崎古島  
南守書局ノ後ノ様子ありし如し

口舌 雨 牧声

殿内山園等より三通し古妻より西  
山園より流石と云ふ物

田舎者光りたる雨多し  
古島の物と云ふは日星非事し  
雨音も騒々し

口舌 晴 秋見

物も古臣占大極澤水標禰古村より  
江戸傳へて八箇中より西水は標禰

古臣丹力河上を居り  
山城標禰長谷川仙道は指同式

山崎古島より西へ  
山崎古島より西へ

口舌 晴 京

子卯九條方九品寺に因道土蔵と  
河津行多流 古字鳥物標禰

小寺標禰河津行多流  
秋之清夜標禰小寺

因道古島に後知信大母と云ふ  
知信即老翁の中寂寥外係古臣に之

豊田古臣に因道  
因道古臣に因道

口舌 晴 京

貞之標禰古島に事備寺と云ふ煙寺  
古島古島に事備寺

貞姫我、古標禰の白  
古標禰の白

口舌 晴 京

保第一古標禰古島に因道  
古標禰古島に因道

古標禰古島に因道  
古標禰古島に因道

古標禰古島に因道  
古標禰古島に因道

口舌 晴 京

古標禰古島に因道  
古標禰古島に因道









克

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...

一 此為...

...





江戸分米決法  
六人拂早追了与

旅食料  
経用利

四月

六十四

乞食用

七月

二十九

乞食用

八月

二十七西乞食用

九月

二十五

老算用

二十五

廿四西 算用

十月

力提充

三十

三十西

乞食用

廿西

二十西

乞食用

代長丸

一 〇〇〇〇

一 七〇〇

一 四〇〇

一 七〇〇

一 七〇〇

一 七〇〇

一 七〇〇

一 十〇〇

一 三〇〇

〇二二三〇

河紀

筒下

性子

中

方

羽

全

法

日

村

服

ワット

監

一七五 関ヶ原の戦い

一七六 桂河橋の戦い

一七七 賄谷

一七八 打取山

一七九 紫雲山

一八〇 檜木

一八一 頼朝

一八二 小栗

一八三 白旗

一八四 八尋 紫雲

一八五 何禮

一八六 錦

一八七 所

一八八 所

一八九 桂河

一九〇 カス

一九一 西

一九二 一

一九三 一

一九四 一

一九五 一

一九六 一

一九七 一

一九八 一

一九九 一

二〇〇 一



英銀  
アルビオン  
四千  
三千兩

油心炭直書  
十石  
四石  
十一石  
肥前  
大隈  
八十人

在尾花  
一石  
一石  
一石

下郡山  
一石  
一石  
一石

神戶東運上  
瀬川保三  
一石

道空所  
何禮之助  
一石

田原屋  
河内屋  
一石

大井下  
新  
一石

一石  
一石  
一石

一石  
一石  
一石

一石  
一石  
一石

佛光寺  
竹屋  
一石

新町  
一石  
一石

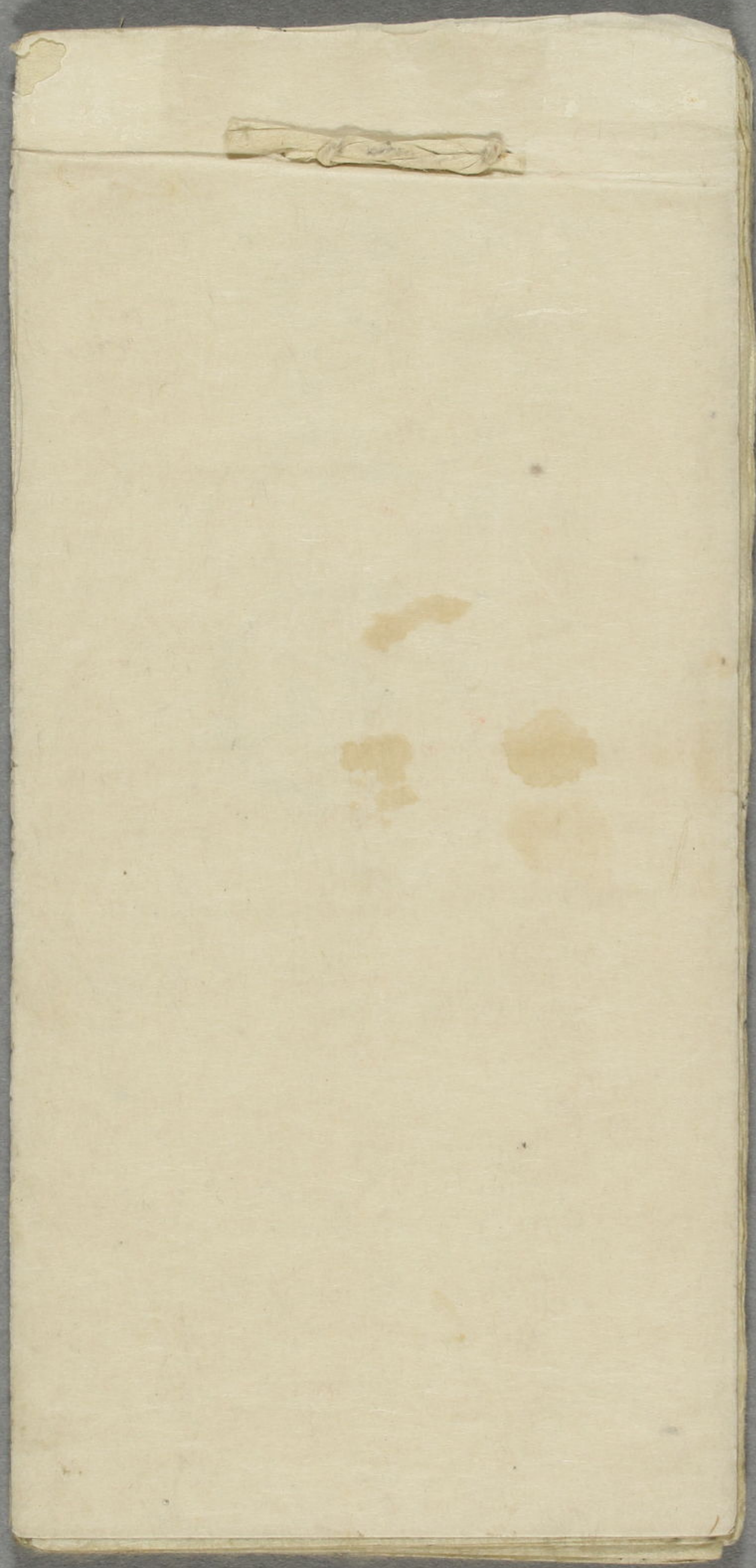
山田  
一石  
一石

牛込原  
吉兵衛  
一石

十六日

共壽  
戊辰





卷

一 沙为老分之来流

一 沙来

竹山

一 沙为老分沙来分下

一 老

竹山

一 沙为老分

陣

一 老

竹山

九西沙来

一 四

陣

一 老

竹山

一 三

陣

一 老

竹山

一 十

陣

一 老

竹山

一 老

陣

一 老

竹山

一 老

陣

竹山

一 老

陣

一 十

陣

一 老

竹山

一 老

陣

一 老

竹山

一 老

陣

一 老

竹山

一 老

陣

一 老

竹山

一 老

陣

竹山

一 老

竹山

陣